

平成30年度

履修証明プログラム

大阪商業大学

## 【履修証明プログラムとは】

大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校（以下「大学等」という。）においては、これまで培ってきた教育研究成果を広く社会へ提供する取り組みとして、科目等履修制度や公開講座等を実施してきました。このような取り組みに加え、更なる社会貢献を促進するために社会人を対象とした一定のまとまりある学習プログラムが必要であるとして、平成 19 年の学校教育法の改正により大学等における「履修証明制度」が創設され、12 月 26 日より施行されました。

「履修証明制度」による「履修証明プログラム」とは、社会人等の学生以外の方を対象として開設するプログラムです。大学に在籍し、所定の単位を修得して学位を取得する学位課程とは異なり、単位を授与するものではありませんが、プログラムの修了要件を満たした方には「履修証明書」を交付します。またこのプログラムは一つの課程としてまとまりのある内容を提供するものです。

本学においても社会人を対象とした教育研究活動の提供として、科目等履修制度や公開講座を実施してきました。これらの活動に加え、以下のような特色のプログラムを提供します。

## 【プログラムの特色】

- ・本学の全学科（経済学部 経済学科、総合経営学部 経営学科・商学科、公共学部 公共学科）における開講科目の内、本学が指定する科目の中から受講する科目を選択することが可能です。
- ・プログラムは「教養コース」「専門コース」の 2 種類です。

### 「教養コース」

… “地域を探究する” をテーマに主に大阪を中心とした歴史、文化、産業について学びます。私たちが暮らす日本、さらには「大阪」とはいったいどのような特性を持った地域なのか。知られざるその特性を様々な観点から学ぶ機会を提供します。科目は本学の副専攻科目（教養科目）になります。

### 「専門コース」

… “地域社会と中小企業を学ぶ” をテーマに本学がこれまで力を注いできた地域社会と中小企業分野について学びます。中小企業問題や中小企業経営についての知識を、初歩から応用まで幅広く修得することができます。また地域と中小企業の連携による「地域づくり」、地域社会と中小企業に関する様々な科目の中から自ら科目を選択して学ぶことができます。

## 【開講科目一覧・概要】

### ○教養コース（一覧）

開講期	科目名	担当者	配当年次	単位	時間数
前期	日本文化事情	石上	1	2	22.5
	日本の生活文化	松本	1	2	22.5
	日本の食文化（注1）	大西	1	1	10.5
	日本の住文化（注2）	加茂	1	1	10.5
	地域探究論	明石	1	2	22.5
	地域連携史Ⅰ	明尾	1	2	22.5
	大阪の歴史と文化Ⅰ	伊藤(純)	1	2	22.5
後期	日本の衣・染織文化（注3）	青木	1	1	10.5
	地域連携史Ⅱ	松永	1	2	22.5
	大阪の歴史と文化Ⅱ	明尾	1	2	22.5
合 計				17	189.0

（注1） 前期の後半に全7回の授業を行います（初回授業日：6月11日）。

（注2） 前期の後半に全7回の授業を行います（初回授業日：6月15日）。

（注3） 後期の前半に全7回の授業を行います（初回授業日：9月25日）。

### ○教養コース（概要）

開講期	科目名	担当者	概要
前期	日本文化事情	石上	日本の文化の独自性、また普遍性について、世界の中の日本という視点から考える。様々なテーマや視点から、日本という国の姿を見つめ、日本文化を深く理解していく。
	日本の生活文化	松本	生活文化は、その名の通り、いろいろな人間生活のなかから生み出され、形作られたものである。この授業では、日本人の生活のなかから生み出され、今に続いているものを中心に紹介していく。
	日本の食文化	大西	人々の暮らしと密接にかかわる「食」を題材に取り上げ、その捉え方、認識について他者と比較することを通じて受講生自身の物事の捉え方や認識の特徴に対する気づきを促す。

開講期	科目名	担当者	概要
前期	日本の住文化	加茂	住まいの文化は、慣れ親しみ、よく知っているようで知らないこと、気づかないことも多いかもしれない。また、場所や時期によって、表出する文化にも違いがある。自国の住文化について、いろいろな切り口から改めて考え、気づき、知る機会としたい。
	地域探究論	明石	地域の魅力はそれぞれの地域が別の地域と違う特徴を持っている。この講義では、地域の特徴や個性を知り、地域ごとの存在感を生む要因を考えていく。
	地域連携史 I	明尾	北前船（西廻り航路）と大阪文化の関係性を考える。近世以降の北前船（西廻り航路）を題材に、その往来による物資の流通が大坂（大阪）経済に及ぼした影響や寄港地を窓口とする地域交流の歴史などに焦点を当てる。
	大阪の歴史と文化 I	伊藤(純)	私たちが学び、生活している大阪を、より理解する。地形、交通、街道、産業、生活といった様々な分野・視点から大阪について学ぶ。
後期	日本の衣・染織文化	青木	四季のある日本、東西に長く各地でそれぞれの文化を築いてきた日本、歴史的には大陸からの影響を受けながら文化を形成してきた日本は、豊かな衣生活文化をはぐくんできた。「着物」、「きもの」、「キモノ」、「KIMONO」、世界の人々が知る存在となったこの日本の衣服とその素材としての染織について学ぶ。
	地域連携史 II	松永	時間軸という物差しを使った歴史的アプローチから、大阪という地域の文化的特質を探求する実践例を紹介する。地域の歴史・文化が持つ価値について気づき、それをどう活かすことができるのか、考える機会を提供する。
	大阪の歴史と文化 II	明尾	大阪画壇をもとに大阪文化の多様性を探る。古き良き大阪が持っていた空気感、人情、日常生活について、その文化受容と表現方法に関して、大阪画壇の絵画作品を通じて考える。

○専門コース（一覧）

開講期	科目名	担当者	配当年次	単位	時間数
前期	地域連携史Ⅲ	糸野	1	2	22.5
	地域経済学Ⅰ	柿本	2	2	22.5
	事業承継概論	村上	2	2	22.5
	地域社会と中小企業	糸野・孫・前田(啓)	3	2	22.5
	中小企業金融	林(幸)	3	2	22.5
後期	地域経済学Ⅱ	柿本	2	2	22.5
	経営リーダーシップ論	文能	2	2	22.5
	地域産業振興論	池田・糸野・坂田 前田(啓)	3	2	22.5
	中小企業政策論	糸野	3	2	22.5
通年	中小企業論	糸野	3	4	45.0
合 計				22	247.5

○専門コース（概要）

開講期	科目名	担当者	概要
前期	地域連携史Ⅲ	糸野	地域における経済を歴史的視点から考える。特に地場産業や地域産業に視点を当て、それぞれの地域固有の経済史を考えながら、地域における経済を学ぶ。
	地域経済学Ⅰ	柿本	国から地方へという地方分権の流れの中で、地域の活性化、地域経済の自立などの今日的なテーマを学ぶ。
	事業承継概論	村上	単なる事業承継のノウハウではなく、事業承継の社会的意義や本質を考えるとともに、事業承継支援制度や後継者による経営革新の実態などについて事例を交えながら解説する。
	地域社会と中小企業	糸野・孫・前田(啓)	地域の企業経営者等を招き、現実の企業経営などを伺うと共に、それらの企業・団体が地域とどのような関わりを持っているかを学ぶ。
	中小企業金融	林(幸)	日本における中小企業を取り巻く金融環境や中小企業の資金調達方法についてその特徴を学ぶ。中小企業はその資金をどのように調達しているのか、中小企業を取り巻く金融はどのようなになっているのか、これらについて事例を挙げながら理解を深めていく。

開講期	科目名	担当者	概要
後期	地域経済学Ⅱ	柿本	景気の低迷、少子高齢化、財政危機など重要な課題が山積する日本で、地域の発展を進めるためにはどうすべきか。経済学的視点から分析し、その仕組みを理解して今後の方向を見つめる。
	経営リーダーシップ論	文能	組織を円滑に運営するためにはリーダーの役割が重要となり、リーダーシップの発揮が不可欠であることを、経営理論と企業の事例から学ぶ。
	地域産業振興論	池田・糸野・坂田 前田(啓)	激変する時代を生き抜く地域企業や行政・団体の方を招き、地域産業の振興について一緒に考える。
	中小企業政策論	糸野	日本における企業の99%までが中小企業である。このような中小企業に関する政策も数多く存在しているが、この授業では歴史的視点から中小企業政策を振り返りながら、日本の中小企業研究についても学ぶ。
通年	中小企業論	糸野	中小企業という言葉はよく使用されるが実のところいろいろな考え方が錯綜しているのが現実である。この授業では、日本の企業の99%を占める中小企業について、戦前から振り返り、日本経済において中小企業の果たしてきた役割を考え学ぶ。

## 【受講資格】

下記のいずれかに該当する社会人

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または、平成 30 年 3 月卒業見込みの者。
- ② 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ③ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、または、平成 29 年 3 月修了見込みの者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または、平成 30 年 3 月修了見込みの者。
- ⑤ 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程において、修業年限 3 年以上の課程を修了した者、または、平成 30 年 3 月修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、または、平成 30 年 3 月までに合格見込みの者。
- ⑦ 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

## 【定員】

若干名

## 【受講期間】

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

※休日等は本学の学年暦に準ずる。

## 【受講方法】

受講科目は対象科目の中から合計 120 時間以上となるように、受講者本人が科目を選択します。

本学学生と一緒に対象科目を受講してください。

○授業は、1 科目 90 分です。

時限	授業時間
1	9 : 00～10 : 30
2	10 : 40～12 : 10
3	13 : 00～14 : 30
4	14 : 40～16 : 10
5	16 : 20～17 : 50

○月曜日～金曜日の午前 9 時から午後 5 時 50 分の間で時間割を組んでいます。

○夏期休業期間、冬期休業期間は、学年暦でご確認ください。

## 【受講会場】

大阪商業大学キャンパス（大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10）

## 【出願手続き】

○出願期間

平成 30 年 3 月 22 日（木）～3 月 29 日（木）※日曜・祝日を除く

9：00～17：00

○出願書類

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| ① 履修証明プログラム履修申請書（本学所定様式） | 1 通 |
| ② 履歴書（本学所定様式）            | 1 通 |
| ③ 最終学校の卒業（見込み）証明書        | 1 通 |

※上記出願書類に検定料 5,000 円を添えて教務課窓口にて出願してください。

## 【審査方法】

書類審査

※審査結果については下記期日に通知します。

審査結果発表日：平成 30 年 4 月 3 日（火）

## 【受講料等】

履修登録料 30,000 円

授業料 120,000 円

※受講時間を 120 時間以上とするためには、12 単位以上の受講が必要です。

※12 単位を超える分については、1 単位 1 万円を徴収します。

## 【修了要件】

- ・1 年間で開講科目の内、6 科目以上（120 時間以上）を履修し、各科目が定める評価方法に試験を受験し（またはレポート課題の提出等を行い）、成績評価において合格点（60 点以上）を取得すること。
- ・修了者には学校教育法第 105 条に基づき、本学より履修証明書を交付します。

## 【その他】

コース修了の有無に関わらず、当該科目を各成績評価によって修得された場合、希望される方には単位を認定することができます。



## 【問い合わせ先】

大阪商業大学 教務課

〒577-8505

大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL : 06-6781-8816

FAX : 06-6785-6156

E-Mail : [ouckym@oucow.daishodai.ac.jp](mailto:ouckym@oucow.daishodai.ac.jp)

## 平成 30 年度 大阪商業大学 学年暦

	日 程	内 容
前 期	4月 9日 (月)	前期授業開始
	5月 1日 (火)・2日 (水)	臨時休講
	7月16日 (月)	海の日 月曜通常授業の実施
	7月30日 (月)	授業予備日
	7月31日 (火)～8月 6日 (月)	前期定期試験期間
	8月 7日 (火)	前期定期試験予備日
	8月 8日 (水)～9月20日 (木)	夏期休業期間
	9月 6日 (木)	追試験許可者発表・追試験受験料納入手続
	9月10日 (月)～9月12日 (水)	追試験
後 期	9月21日 (金)	後期授業開始
	9月24日 (月)	振替休日 月曜通常授業の実施
	10月 8日 (月)	体育の日 月曜通常授業の実施
	10月26日 (金)・27日 (土)	大学祭のため休講
	11月23日 (金)	勤労感謝の日 金曜通常授業の実施
	12月23日 (日)～1月 5日 (土)	冬期休業期間
	1月 7日 (月)	授業再開
	1月22日 (火)・23日 (水)	土曜日の通常授業
	1月24日 (木)	授業予備日
	1月25日 (金)～2月 1日 (金)	学年末定期試験期間
	2月 2日 (土)	学年末定期試験予備日
	2月21日 (木)	追試験許可者発表・追試験受験料納入手続
	3月 1日 (金)～3月 4日 (月) ※日曜日を除く	追試験
	3月31日 (日)	学年終了

- \* 「授業予備日」は授業期間内において台風等により全学的に終日休講となった場合の振替日です。
- \* 「定期試験予備日」は定期試験期間内において台風等により全学的に定期試験を実施することが困難な場合に備えた振替日です。
- \* 補講は平日の6限目または土曜日等、通常の授業と異なる曜日・時限で行われます。